当院回復期リハビリテーション病棟　実績部分

回復期リハビリテーションを要する状態の割合

一　脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	6名
二　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	26名
三　外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1名
四　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名
五　股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名
六　急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名
退棟者数合計（7月～9月）	35名

①重症患者受入率 / ②在宅復帰

・重症患者受入れ率は、入院された患者様の総数のうちFIMが21点以上55点以下もしくは高次脳機能障害・脊髄損傷と診断された患者様が占める割合を示しています。
・在宅復帰率とは、回復期リハビリテーション病棟を退院された患者様の人数のうち、在宅復帰された方が占める割合を示しています。

重症患者受入れ率	在宅復帰率
55.2%	90.9%

③実績指数

リハビリの効果を測る指標の一つで、退院患者様について、入院時と比べてどのくらい回復したかを点数化し、それに要した入院期間を所定の計算式に当てはめて算出します。
（点数化には、FIMという評価方法を用います。下記をご参照ください。）
FIM:どれくらい他の人や道具に頼らずに日常生活を行なえるか、評価する一つの方法です。
運動13項目を各7点で評価します。

厚生労働省が示す基準	当院
32（入院料4）	41.2

R8.10月現在